

# 九州産業大学 地域公共交通運行管理支援グループ

稲永健太郎 教授



九州産業大学 地域公共交通運行管理支援グループ  
稲永健太郎 教授

専門分野

・ 交通情報学

キーワード

- ・ 地域公共交通
- ・ 運行管理支援システム
- ・ GTFS / 標準的なバス情報フォーマット



TEL : 092-673-5414

E-mail : inenaga@is.kyusan-u.ac.jp

Website : <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~inenaga/>

■地域公共交通運行管理支援システムの開発

九州産業大学地域公共交通運行管理支援グループは、2013（平成 25）年度に活動を開始し、特に地方部の公共交通が抱える諸問題を解決するための ICT（情報通信技術）の活用を実践すべく、図 1 に示す ICT システム「地域公共交通運行管理支援システム」の開発を中心に、産官学の連携を活かしながら取り組んでいます。

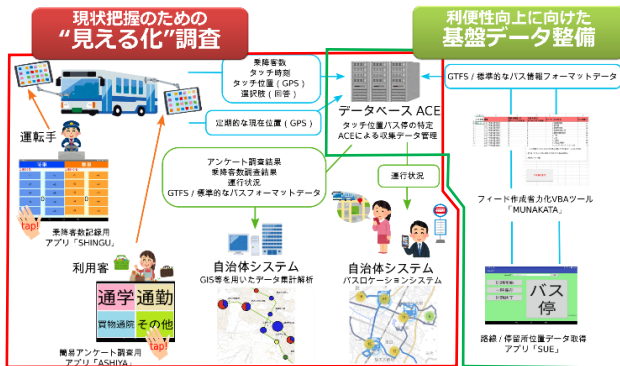


図 1. 地域公共交通運行管理支援システム

■現状把握のための“見える化”調査

このシステムは、車両内に設置したアプリを中心とした、詳細な乗降客数調査や車両内での簡易アンケート調査を実施するための機能を備えています。この機能の利用実績として図 2 に示すように、2013（平成 25）年度の福岡県遠賀郡芦屋町のコミュニティバス「芦屋タウンバス」をはじめ、2019（令和元）年度までに福岡県内 9 市町のコミュニティバスで各種調査を実施してきました。一部の調査では、民間企業と連携しました。この調査結果は、一部の市町では地域公共交通に関する協議組織の根拠データとして使用されています。

■利便性向上に向けた基盤データ整備

このシステムを使い、GTFS 国土交通省が策定した標準的なバス情報フォーマットデータの整備（作成・更新）支援を続けています。図 3 に示すように、Google Maps や Yahoo!路線情報等の国内の経路検索サービスへの掲載を目指し、これまで福岡県内を中心に九州地域 13 市町の渡船やコミュニティバスを対象とした実績があります。これらのデータは前述の見

える化調査や、今後の交通行政のデジタル化に向けた基礎データとしての活用が期待されます。

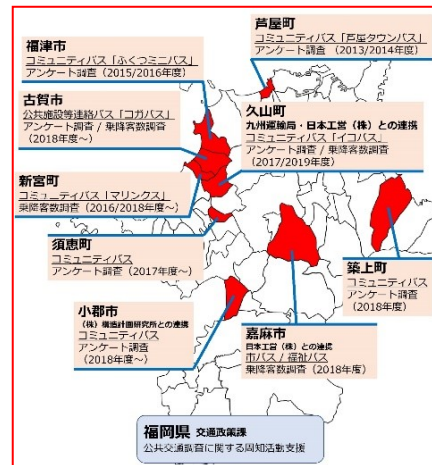


図 2. 見える化調査実績

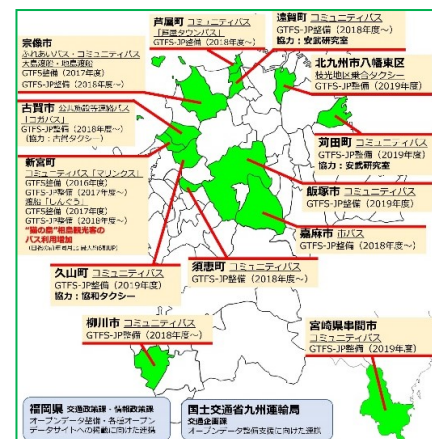


図 3. 基盤データ整備実績

今後は、車内船内の混雑状況の情報提供を含む、with コロナに向けたシステムの改良や九州地域外での活動を視野に入れた活動を展開していきます。